

# 経営指針書

2024年度 (2024. 10~2025. 9)



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



氏名

合同経営グループ

2024年版

# 合同経営の10年ビジョン

創造を超える革新で、未来を拓く

## 地域に光を、人に笑顔を!

ファーストベンギン  
未来を遊泳する  
挑戦の第一羽

「働く場」のチェンジメーカー  
「働く場」にポジティブな変化を  
導き、輝きと笑顔を地域社会に広げる

デジタルの風を背に  
人間らしさを原動力に、  
共に成長し、地域を輝かせる

「あなたの場所であなたらしく」  
在宅介護に  
希望の灯りをもとす

### 挑戦

- 合同経営版ドラゴン桜  
国家資格へのチャレンジをサポート
- 挑戦(チャレンジ)するための体力づくり  
健康経営の推進と実践
- 変化の先駆者となるために日々学習と成長
- 徹底したAI化へ

### 未来

- AIにはない人間らしさで、  
顧客満足度 地域 No.1
- 人とAIを繋ぐ存在となり、  
顧客の問題意識を一掃に解決
- 地域と共に願望先と共に  
未来を切り拓き、さらなる成長を遂げる
- 週休3日制の実現

### 育成

- 若い人が働きたいと思える会社になる
- 生き生きと働ける職場環境づくり
- 働き方を自由に選べる会社

### 【輝きと笑顔のために 一隅を照らし 未来へつなぐ】

- 生き生きと働ける職場
- 健康経営の推進

- 持続可能な働き方

- 社員の育成

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 経営指針書 第一部 目次

1. 0	経営指針書の発表にあたって	2
2. 0	職業専門家として未来へつなぐ	3
3. 0	当社の概要等	6
4. 0	経営理念	7
4. 1	合同経営の行動指針	8
5. 0	合同経営グループの「10年ビジョン」	10
5. 1	これまでの歴史	10
5. 2	第30期の主な出来事	10
5. 3	合同経営の10年ビジョン	11
6. 0	数字で見た私達の到達点	13
6. 1	歴史的な合同経営グループの到達点	13
6. 2	合同経営グループの総合的な「決算書」	15
6. 3	前期までの各業務の到達指標	17
6. 3. 1	全法人売上ベースでの生産性分析	17
6. 3. 2	業務別売上ベース	18
6. 3. 3	到達点の推移	18
6. 3. 4	到達点の詳細推移	19
6. 3. 5	是正報告事案（ISO27001の是正事案以外）	22
7. 0	外部と内部の環境分析と将来展望	25
7. 1	企業変革支援プログラムによる自己評価	25
7. 2	未来年表	27
8. 0	中期経営方針	28
8. 1	中期数値目標（請求ベース）	28
8. 2	2030年までの長・中期重点「IT化をリードする事務所」	28
9. 0	第31期 経営計画	29
9. 1	今期数値目標	29
9. 2	合同経営グループの基本方針	30
9. 3	SDGsをふまえた社会的方針	30
9. 3. 1	企業の環境保全責任・地域社会への貢献	30
9. 4	業務重点方針	31
9. 4. 1	顧客「顧客の問題意識を育てる」	31
9. 4. 2	プロセス 真の顧客満足をめざすプロセスの最適化	32
9. 4. 3	社員共育 お互いを尊重し、愛着の持てる良い人間関係を育てる	33
9. 4. 4	財務 財務の最適化を軸に	35
9. 4. 5	合同経営30周年記念事業の開催	36
9. 4. 6	2024年度 合同経営グループの「心の健康づくり推進計画」	37
9. 4. 7	残業時間集計結果	38
9. 4. 8	ストレスチェック結果	38
9. 4. 9	体の健康づくり推進	38
9. 4. 10	メンタルヘルス不調による休業者の職場復帰支援プログラム	39
9. 5	今期の計画進行表	41
10. 0	合同経営グループの組織	42
10. 1	意志決定	42
10. 2	合同経営グループの組織	42
10. 3	委員会	42
10. 4	規約部会	42

# 1. 0 経営指針書の発表にあたって

## (1) 輝きと笑顔のために 一隅を照らし 未来へつなぐ ～ 30周年の節目を迎えて新たなステージへ ～

合同経営は、1995年に高松市で創業し、今年30周年を迎えます。創業時は、役員1人、社員1人、パート1人の小さな事務所でのスタートでした。香川県ケアマネジメントセンター(株)は、1999年4月介護保険の開始と同時に設立し、今年26周年を迎えます。現在の事務所に移転した後、2014年から2015年にかけて、行政書士法人・社会保険労務士法人・税理士法人の3つの士業法人を設立し、合同経営グループとして、今まで以上に専門性の高いサービスを提供できる体制としました。もともとの母体である、株式会社合同経営には、管理業務の総務部門とシステム部門を残し、現在5法人で運営を行っています。

合同経営の経営理念の考え方の柱は3つあり、一つは社員を大切にする。もう一つは顧問先の繁栄、そしてもう一つは地域や社会への貢献ということです。創業から約30年の歩みの中で、表現は違っても本質的な部分において、この3つの柱が合同経営の存在意義として、合同経営の使命として引き継がれています。

今年30周年の節目を迎えるにあたり、昨年改訂した経営理念の「輝きと笑顔のために 一隅を照らし 未来へつなぐ」と共に私たちは新しいステージへと進んでいかなければなりません。

中小企業は、物価高騰や賃上げ政策の影響を直接受ける経済の最前線に立っています。日本企業の99.7%が中小企業であることを考えると、私たち中小企業が経済のフロントラインとしてしっかりと役割を果たしていかなければなりません。自社の発展と共に顧問先企業を支える存在として、地域の人が幸せに暮らせるよう、法律に基づく権利行使・意思決定を支援することが私たちの存在意義であり、使命です。

物価高騰・賃金上昇だけではなく、少子高齢化による労働力不足、円安、金利上昇など不安要素が多くみられますが、私たちは、ITの活用も含めてこれらの問題に立ち向かう知恵を絞りながら、中小企業の新しい形を模索していく必要があります。今こそ創造を超える革新で、未来を拓き、新しいステージに進んでいく時です。

## (2) 社内最低賃金 1,500 円を 3 年以内に実現

日本政府は賃金の底上げを通じて経済成長と生活水準の向上を目指すために 2020 年代中に最低賃金 1,500 円を実現することを目指しています。合同経営グループでは、ここ数年、定期昇給と併せて、ベースアップも毎年実施していますが、社内最低賃金 1,500 円を早期に達成するため、さらに計画的にベースアップを進めていきます。政府の達成目標に先駆けて 2027 年までに 3 年以内で社内最低賃金 1,500 円の実現を目指し、全力を尽くします。

この目標達成のためには、売り上げの確保に加え、業務の効率化や経費削減も不可欠です。全社一丸となって取り組むことで、社内最低賃金 1,500 円を確実に達成し、さらに余裕をもって達成できることを期待しています。

## (3) IT の活用で業務効率を高める

日本の労働環境改善のために 2018 年に「働き方改革関連法」が成立し、労働時間の上限規制や有給休暇の取得義務化、同一労働同一賃金の実施など、多岐にわたる改革が進められています。経営計画においては、売上目標の達成だけではなく、適正な利益の確保も視野に入れた取り組みが求められます。売上が増えた分だけ、人員や労働時間が増加しては、本末転倒です。

重要なのは、現行の業務に対して疑問を持ち、手順を再認識することです。そして、IT の活用を通じた業務効率化により、最小限の努力で、最大の利益を生み出す体制を築くことが必要です。

ここでも全社一丸となり、知恵を出し合いながら取り組んでいくことが求められます。

2024 年 11 月 1 日

合同経営グループ代表 酒井洋美

## 2. 0 職業専門家として未来へつなぐ (私の心情)

2023年11月18日 代表 酒井洋美

### [生い立ち]

私は香川県丸亀市で、父はサラリーマン、母は専業主婦、祖父は専業農家で、今では少ない3世代同居の家で3人兄弟の長女として生まれました。

祖父が専業農家だったので、お米だけでなく、夏は玉ねぎ、冬はいちごやレタスなどを農協に出荷していました。祖父は、専業農家で5人の子供を育てあげました。父は長男で後は4人とも女性だったので、必然的に父が後を継ぎ、サラリーマンの傍ら祖父の農業を手伝っていました。子供の頃は田んぼや畑で遊ぶことも楽しくて、今では見かけなくなりましたが、刈り取ったお米を乾かすために杭を立てて自然乾燥する稲架掛け(はさかけ)の杭は、鉄棒代わりにぶら下がって遊ぶものだったり、いちごのビニールハウスの骨組みも、ビニールが外されている時期は、簡易なジャングルジムのように、子供の絶好の遊び道具であったことは間違いありません。遊んでいるだけでなく、出荷の手伝いもちゃんとやりました。特にいちごの季節は、お店屋さんごっこの延長のようで楽しく、パック詰め出来なかったいちごは自家消費にまわるので、おいしいご褒美つきのお手伝いでした。

### [就 職]

大学卒業後、就職したのは丸亀市役所でした。証券会社に内定をもらっていたのですが、運よく公務員試験に合格したので、親を安心させるためにも実家から通える丸亀市役所に行くこととしました。その時には、すぐに結婚して県外に行くだろうという思いがあり、腰掛けのつもりの就職でした。仕事のやりがいとか働きがいは二の次で、親が安心する安定した就職先という思いだけでした。

配属は、税務課で税務課の窓口で来訪者の応対をする業務でした。入社時の初任者研修では、一般的なことしか教えてもらえず、税務の知識もほとんどないままの配属でした。税務関係の課税証明書の発行や軽自動車のナンバー交付などが主な業務で、あとは相談内容を確認し、それぞれの担当課に繋いでいくという仕事でした。それでも、相談内容によって案内する担当課が違ってくるので、窓口業務の合間に基本的な税務の勉強もしていました。窓口のもう一人の年下の先輩女性にも助けてもらいながら仕事にもすぐ慣れることができました。今でもあるのかどうかわかりませんが、新人の女の子のもう一つの仕事は、お茶くみ当番で、部内40人分の、コップと好みを把握するほうが大変でした。公務員の古い体質は改善しているのでしょうか?と思うことがあります。お茶くみ自体は嫌ではなかったのですが、同期で入社して男性の職員は、お茶くみをすることもなかったもので、少し不公平感を感じていました。当時は、男女雇用機会均等法が施行されてすぐの時期だったので、女性がお茶くみをすることに対する違和感は今の時代と比べると少なかったと思います。

公務員は、身分は安定しているのですが、自分で業務は選べないので数年ごとに配置換えがあります。やっと慣れてきた部署から全く初めての部署に異動させられることもあるので、自分の思うキャリアアップが出来ないところも、やりたい仕事がある人には不向きな職場かもしれません。ただ、私は税務課配属でその時に勉強し習得した税務の知識を、次の仕事にも活かすことができているので良かったと思っています。

公務員とは逆の仕事のやりがいや働きがいのある仕事で、自分のキャリアアップも目指せる仕事に対して憧れの気持ちもありましたので、最終的に今の仕事に行きついたのも公務員時代の経験があるからかもしれません。さらに、女性だからとお茶くみをしていたことも、男女関係なく女性が生涯働き続けられる仕事として今の仕事を選んだことに繋がっているような気がします。

## [結婚と上京]

主人とは、大学生の時に知り合い、年齢は一つ上の後輩(主人が浪人している間に私が先に大学に入学したので)で、私の方が先に就職しました。主人の就職先は、東京だったので、東京に嫁ぐこととなり、市役所は2年足らずで退職しました。

東京では会計事務所にすぐに就職が決まり、葛飾区で4年ほど暮らしました。会計事務所の仕事は新しいことをどんどん覚えていったこともあり、とても楽しかったです。ある日、事務所のすぐ横のアパートで火災があり、事務所の一部が焼けました。そのこともあり、新しい事務所が建てられ、新オフィスでの業務が始まりました。部屋も広くなったので、新しい人が採用され、人も増えていきました。少し年上の女性が多かったのですが、最初は何もわからないので丁寧に教えてくれていましたが、ある時、原因不明のことで一人の女性が勝手に怒り出し、数日口もきいてくれませんでした。今でいうとちょっとしたイジメかもしれませんが、そんな状態では、気持ちよく仕事に行けないので、何かわからないけど、もやもやししながら、こちらから謝りました。結局はその人の勘違いだったので、何のことはなかったのですが、行き違いがこじれるとお互いに気持ちがいいものではないので、早く修復したことは正解だったなと思いました。

主人には、少し持病があって持病が悪化していた時は、毎週末は病院通いという日が続いていました。その時に、何かあれば私が守っていかなければならないという気持ちが強くなったことが、自分自身が自立した女性となることを強く意識し始めた瞬間であったかもしれません。

東京での生活を変えることで主人の持病もよくなるならと、東京での生活に見切りをつけ、地元に戻ることにしました。ちょうど阪神大震災の発生した年だったので、主人の実家がある神戸に帰ることは難しく必然的に香川に帰ることとなりました。香川は、主人も大学時代を過ごした土地なので、何の問題もありませんでした。香川に帰ってからは、持病も落ち着いて普通の生活を送れるようになりました。それでもいつまた悪化するかはわからないので、もしもの時は、私だけでも働いて行ける状況にしていなければという思いで、正社員の職を探すこととしました。

## [合同経営に就職]

香川に帰ってからの私の就職活動はなかなか思うようにはいかず、会計事務所に絞って探していたのですが、28歳という年齢のせいか、なかなか決まりませんでした。女性だから、結婚していると出産年齢ではという偏見で面接の際にはっきり言われたこともありました。今でいうと〇〇ハラスメントかもしれませんが、その当時はそれが当たり前のように突き付けられました。

女性だからと採用の入り口で差別されることに腹が立ちましたが、そういう事務所はこちらから願い下げという思いで、就職活動を続けました。たまたま、リビング高松に載っていた小さな求人広告をみて応募したのが合同経営でした。男性とか女性とかということは関係なく面接をしてもらえたと思います。結果、会計事務所で決算までしていた、というキャリアを買われ採用してもらいました。正社員1人目の採用であったのですが、入社時から勉強することへのサポートや、有給休暇を取ることに理解というか、遠慮なくとれる雰囲気など他の事務所と比べて自由に働かせてくれる職場環境であったと思います。

これは、今でも変わらず合同経営の基本的な方針として受け継がれていると思います。

## [バトンをつないでくれた税理士]

2014年秋、社内税理士として勤務していた乃口税理士が、不慮の事故で亡くなりました。大酒のみの破天荒な税理士であり、陽気な人柄であったのですが、思いもかけないことでお別れすること

となりました。少し前に、ガンの告知を受け、ようやく治ったばかりであったのに、本当に悔やまれます。言い出したら聞かない性格だったので、社内でも時々問題をおこして、当事者同士の間に入ったりすることもあり何かと飽きない人でした。

税務署では法人調査部門にいましたので、税務調査は腕の見せ所のはずなのですが、税務調査2日目に二日酔いでまさかの欠勤、私一人で調査対応をさせられたこともありました。顧問先には、体調不良でとしか言えず、何とかしのぎましたが、伝説の「税務調査二日酔い欠勤事件」でした。

社員旅行の時には、人一倍前のめりで、行きのバスの中からすでに出来上がっている状態のこともしばしばでした。ある日帰り遠足の時、前々日くらいに旅行行程が気に入らないと駄々をこねはじめ、しまいには「じゃあ、わしは行かん!」とごねて親睦委員と大喧嘩をしたこともあります。結局は、渋々行くことになったのですが行けば行ったでしっかり楽しんでいました。税理士と親睦委員の仲裁にも駆り出された私からすると「なんと大人げない。勘弁してよ!」という感じでした。

事故があった時期に、後輩の井原さんが税理士登録をされていて、たまたまその井原さんの税理士登録が完了した日に乃口税理士は息を引き取りました。事務所が切れまなく運営できるように待っていてくれたのだと葬儀の時には、涙が止まりませんでした。このことは乃口税理士が次の世代へとバトンをつなげてくれたということだとも思っています。

さらに、その葬儀の時にたまたま名刺交換した税務署職員の前川さんが、それから9年の歳月を経て、2023年夏に税理士法人合同経営の税理士として勤務することとなりました。人と人の縁は不思議であると本当に思います。一つ一つの出逢いを大事にしなければならぬと本当に思うことが多くなりました。何気ない出逢いが、未来へのバトンを繋ぐ出来事なのかもしれません。

### [合同経営の歩みとともに]

合同経営の創業の翌年に入社した私は、本当に合同経営と共に歩み成長してきたと思います。創業時にはまだ売上げが少なく、契約が出来るたびに喜んでいたり仕事が増えて、残業山盛りのブラック企業時代、社員が定着しない採用退職を繰り返していた時代、様々な困難を乗り越え解決しながら今の合同経営があるのだと思います。特に、士業法人は、資格者がいなければ成り立ちません。士業としての志のあるメンバーとの出逢いが今の合同経営を作っているのだと思います。行政書士法人は、創業時の代表社員から2人目の代表にバトンをつないでいます。社会保険労務士法人も同じようにバトンをつないでいます。こうして一つ一つの法人がそれぞれの立ち位置で努力し成長し、それをグループ全体に還元できるのが、合同経営の強みだと言えます。この成長の循環が回り続けてくれることを期待します。

### [今の思い]

今の仕事は好きです。顧客に感謝されることにとっても喜びを感じます。自分の性分にも合っていると感じるのですが、今までは、林哲也という大きな傘に守られてきたとも思います。これから、経営者として経営を引き継ぐにあたって、自分の力量は林さんには到底及ばないのは分かっているので、役員・社員・取引先など様々な人の力を借りながら経営を行っていくこととなります。幸い、ポットに入った合同経営ではなく、林さんと共に歩んできた約30年の道のりがありますので、それを振り返りながら自分自身の歩むべき道を自分自身で決めて進んでいきます。

## 3. 0 当社の概要等

設立： 1995年6月13日設立

役員： 株式会社 合同経営

代表取締役 酒井洋美

取締役 林哲也、赤松良樹

株主： 合同経営持株会(1,000万円)

法人役員： 行政書士法人 ●長門恵子 松井健太郎

社会保険労務士法人 ●林哲也、●是松郁子、酒井洋美、齋藤美穂、近藤麻美

税理士法人 ●井原惣七、高嶋弘彦、前川幸徳

香川県ケアマネジメントセンター(株) ●林哲也、●宮竹佳代、西原和代、酒井洋美

●は代表社員

執行役員： 行政書士法人 泉川治子

社会保険労務士法人 尾原良太

税理士法人 井浦彰友

所在地： 760-0080 香川県高松市木太町3396番地11

電話 087-812-5010 (代) FAX 087-812-5036

HP： <http://www.godo-k.co.jp>

グループ ①行政書士法人 合同経営

事業： ②社会保険労務士法人 合同経営

・労働保険事務組合 合同経営労務協会

・かがわ障害年金相談センター

・かがわ給与計算センター

・かがわメンタルヘルス支援センター

・かがわ助成金支援センター

③税理士法人 合同経営

④香川県ケアマネジメントセンター株式会社

⑤香川あんしん相続相談室（行政書士法人と税理士法人の共管）

⑥一般社団法人DCマイスター協会香川支部（税理士法人と社会保険労務士法人の共管）

## 4. 0 経営理念

### 合同経営グループの経営理念

# 輝きと笑顔のために 一隅を照らし 未来へつなぐ

#### ① 「日本国憲法」の原理原則を大切にします

本来、憲法や法律は、人々の命と暮らしを守るためにあります。

私たち合同経営グループは、法務専門サービスに従事する職業専門家として「日本国憲法」が定める「法の下での平等、租税法律主義、生存権・社会保障」など、この国の在り方を定めた原理原則を大切にします。

#### ② 「輝き」を広げます

社会に役にたつて必要とされる企業は「輝き」ます。人は、人と社会に必要とされ「輝き」ます。

私たち合同経営グループは、家庭や職場など、人が生きる場所で、人が精一杯努力し、明るく光り輝くことができるようにサービスを提供します。

#### ③ 「笑顔」を広げます

人は、人生を楽しみ、人間らしく愛されて「笑顔」になります。関わる人々の「笑顔」は、私たち法務専門サービスに従事する者としての生きがいであり、誇りです。

#### ④ 「一隅を照らす」ことを誇りに生きます

「一隅を照らす」とは、「一隅を照らす光が集まれば、その光は国全体をも照らす」ことです。

合同経営グループは、職業専門家として、人々が、精一杯生きて、暮らしを守り、人間らしく生きることを支援し、良い会社、良い地域・社会の実現をめざします。

#### ⑤ 「未来へつなぐ」ために今があります

未来へつなぐために今の私たちがやるべきことは、創業者や今まで合同経営に関わった人の思いを受け継ぎ、その思いごと次世代へ繋いでいくことです。今の自分自身の置かれた場所で自分に出ることを精いっぱいすることで、輝きを放ちそれを周りに伝播させます。そして、その小さな光の連続が10年、20年の時間を刻んでいくのです。今の私たちの輝きが未来をつくり、未来へつなぐこととなります。

## 4. 1 合同経営の行動指針

### 合同経営グループの行動指針

全社員は、次の行動指針を実践し、生きたあかしが実感できる生き方をします。

- ① 「勉強好き」になります
- ② 「プラス発想」をします
- ③ 「素直に考え行動」します
- ④ 「仲間を大切に」します
- ⑤ 「徹底実行」します

**行動指針 前文** 生きたあかしが実感できる運営をします。

#### (1) 「楽しめる」会社になります。

孔子は「論語」で「子の日わく、『これを知る者はこれを好む者に如かず これを好む者はこれを楽しむ者に如かず』（幸せを知る者は幸せを好む者に及ばない。幸せを好む者は幸せを楽しむ者に及ばない）と述べました。私達は、単に「法律知識を知っている」だけではなく、「専門的知識を活用し、『経営や生活に積極的に活用して役立つ』ことを楽しむ専門家集団」となります。

#### (2) 「共に学び育つ」という生き方

例えば「相談してよかった」と喜ばれることは、喜びを実感できる瞬間です。そのために、相談者と共に学び育つという意味で「示唆・助言・支援」を行います。

示唆	提言(suggestion) 考えさせる(thought-provoking)
助言	助けになるような意見を、そばから言うこと。 (advice)
支援	他人を支え援助すること。他人のために協力すること。手を貸し助けること。

相談者も「人間」です。相手の苦勞や立場を尊重したうえで、弱さや甘え、考え違いを認めながら、問題解決の喜びを共有します。

#### (3) 土業事務所の新しい「組織経営」の探求

合同経営は「組織経営」を基本とします。仲間の中から次代の経営陣が構成されます。

一般の土業事務所では、職員を「消耗品」「丁稚奉公」と公言することもあります。合同経営は社員の「人格」は対等と位置づけます。

**行動指針① 「勉強好き」になります。**

この「勉強」とは、「資格取得」という意味に限定していません。もっと広い意味があります。

「勉強」とは“違ったことを知ること、自分の知らないことを知ること”と言えるでしょう。新たな経験をすることも勉強と言えます。

私達の専門家のエネルギーの源は、毎年、資質向上に挑み、新しい知識を獲得することにあります。仕事に必要な専門的知識及び技術とともに、広く知識と教養を身につけます。

また、資格の受験には最大限の支援をします。

**行動指針② 「プラス発想」をします。**

「プラス発想」には、まず「過去オール『善』」の考え方が前提です。過去と他人は変えられません。変えられるのは、過去の評価をする自分と未来だけです。過去に起こったことを悔やんでもどうしようもないでしょう。過去に起こったことは「これでよかった」と思うしかありません。過去を肯定した上で、「では未来を良くするためにはどのようにこれから努力していこうか。どう自分を成長させていこうか」という発想からスタートすることが大切です。

何事も、最初に「否定」をして取り組む場合と、「やってみよう」と取り組む場合とでは、その先の結果は大きく違ってきます。

まずは、興味を持って、やってみる方法も知恵を借りるなど前向き発想でいきましょう。

### 行動指針③ 「素直に考え行動」 します。

「素直」とは“人の話を聞いて、言われたことをそのままやる”ということではありません。

まずは事実を事実として受けとめます。当然、その情報を理解できる場合と出来ない場合があります。この「理解出来ない」時がポイントです。

「理解出来ない」ことを“間違っている”と即時に否定するのではなく、それは自分に力が無い、能力が足りないからだとして認識し、理解するために勉強したり、誰かに「教えてください」と頭を下げて情報をいただくよう努力をします。

自分をもっと良くなるようにどう努力するかという意識（プラス発想）を持ち、人の意見や情報を「素直」に聞くと、どんどん情報があつまってくるようになります。

こうして、ものごとを素直に考え、行動する人となります。

### 行動指針④ 「仲間を大切に」 します。

生まれも育ちも全く異なる人が、募集に応じて集まったのが会社という組織です。その目的は「働くこと」です。「働く」という共通の目的の実現のために、仲間には可能な限り声をかけ、困っているなら相談に乗って、解決策を考えていきましょう。

自分の大切な1日の24時間で、睡眠等の時間を除くと10時間程度が自分の使える時間です。その時間の中で8時間近くを費やして働いているのですから、職業人の人生は仕事そのものです。だからこそ働く時間はお互いに大切にしたいものです。

人生の貴重な時間を費やしているのだからこそ、一緒に働く同僚、仲間の明るい未来を実現し、困っている人には支援をしましょう。その支援は必ず自分にも帰って来ます。

### 行動指針⑤ 「徹底実行」 します。

「何を決めても、実行は曖昧」というのでは、決める意味がありません。「決める」のは実行をするためです。徹底実行するためにも、「目的」をしっかりと考えて決定することが大切です。

また、むやみに決めた事を繰り返すことではありません。実行で、PDCAサイクルを意識すると実行のレベルは向上します。

PDCAサイクルとは次の内容で業務が継続的に繰り返され、改善・発展することです。

- ①PLAN（計画）：従来の実績や将来の予測などをもとにして業務計画を作成する
- ②DO（実施・実行）：計画に沿って業務を行う
- ③CHECK（点検・評価）：業務の実施が計画に沿っているかどうかを確認する
- ④ACT（処置・改善）：実施が計画に沿っていない部分を調べて処置をする

# 5.0 合同経営グループの「10年ビジョン」

## 5.1 これまでの歴史

年代	期	売上(千円)	経営状況・沿革	人数	経済情勢等	在籍者の入社時期
1995.9	1		創業(増田・藤本・米澤税理士と提携開始)	1	阪神大震災発生	林
1996.9	2	8,514	合同経営労務協会設立	3	NTT分離分割化決定、住専処理	酒井
1997.9	3	13,577	濱田行政書士開業	3	消費税5%	
1998.9	4	17,922	酒井社労士開業	6	金融再生関連法成立	赤松
1999.9	5	25,530	助成金の波、岩倉社労士開業、県ケアマネ設立	9	改正男女雇用機会均等法施行	宮竹
2000.9	6	48,274	介護保険施行 県ケアマネ支援事業開始	16	沖縄サミット 介護保険施行	山地
2001.9	7	91,714	給与計算、合同経営に改称・カストップとケアアップ設立	20	アリカ同時多発テロ勃発	
2002.9	8	97,167	なご行政書士開業、岩倉社労士廃業	23	日韓共催ワールドカップが開催	長門
2003.9	9	93,631	社福法人会計、大西税理士独立、佐藤税理士提携	24	イラク戦争始まる	
2004.9	10	97,368	就業規則コンサル展開、米澤税理士死去	26	円高円安、消費税込み表示	
2005.9	11	102,637	給与計算業務の抜本的見なおしの開始	26	郵政民営化総選挙で自民圧勝	
2006.9	12	107,650	ワンストップと経営統合、持株会の運用開始	27	会社法、役員報酬損金不算入制度	近藤・岡野
2007.9	13	107,379	乃口税理士開業登録、情報管理改善に着手	26	不二家偽装等なつ造事件	是松・松原
2008.9	14	110,690	年度目標を達成し、停滞から前進へ転じる	26	北京オリンピック開催、サブプライム問題	齋藤
2009.9	15	113,155	初の決算賞与、「介護職員処遇改善交付金」	29	裁判員裁判施行、民主党政権誕生	
2010.9	16	119,068	事務所移転決断	33	パンクバンド、上海万博	泉川
2011.9	17	154,586	事務所移転、税理士法人四国、是松社労士開業	36	東日本大震災、福島原発事故	
2012.9	18	165,904	鈴木行政書士開業	37	ロンドンオリンピック	
2013.9	19	170,859	遺言相続・障害年金・給与計算・医療福祉センター	34	アベノミクス、消費税増税実施決定	香川
2014.9	20	178,616	社労士と行政書士の法人化、乃口税理士死去	40	消費税8%	尾原・井原・深野・植丸
2015.9	21	196,958	税理士法人設立、事務所改築(サーバー室設置)	40	マイナンバー制度開始	筒口・新開
2016.9	22	203,309	ストレスチェック開始、マナー取り扱い開始	39	ストレスチェック制度開始、円高円安	
2017.9	23	241,115	横浜オフィス、名古屋オフィス開設	53	トランプ大統領就任、森友・加計疑惑	小西・宮西・金藤
2018.9	24	267,565	健康づくり企業として卓球開始	54	平昌オリンピック開催	藤原・森本・渡邊
2019.9	25	311,653	新卒社員3名入社、1階台所改修	59	改元「令和」	高嶋・中西・三木菜・川前・松井・香西・深谷・武田・木内
2020.9	26	322,713	新館増築竣工	62	新型コロナウイルス	小山・杉本・藤本・渡辺・竹野・山下・三野・西松
2021.9	27	347,379	屋上菜園	62	東京オリンピック開催	池田・西・植村
2022.9	28	352,466	キッチンカーお弁当販売開始	64	ロシア・ウクライナ戦争勃発	井浦・宮田・吉田・吉井
2023.9	29	368,935	太陽光発電設置	63	物価高騰	三木彰・日高・前川・村田・横内・青木
2024.9	30	394,493	ISO移行審査、社内コンビニ販売開始	62	パリ五輪、能登地震、円高円安	黒川・杉尾・前田・喜岡・市川・遠藤・北池

## 5.2 第30期の主な出来事

2023年	
10月	2日 新卒者内定式 12日 経営会議
11月	★年末調整 18日 事務所総会
12月	★年末調整 1日 大掃除 2日 美装 10日 労働保険3期 20日 賞与
2024年	
1月	★年末調整 4日 仕事始め 24日 相続無料相談会
2月	★確定申告
3月	★確定申告 19日 経営会議
4月	3/29~4/4 全社面談実施
5月	★事務組合年度更新 ★3月末決算提出 下旬 合同経営社内卓球大会
6月	12~13日 ISO内部監査 17日 小濱セミナー 20日 相続無料相談会 21日 事務組合総会 27日 メンタルヘルス研修
7月	★算定基礎届 10日 労働保険料1期 24~26日 ISO移行審査
8月	1~2日 評価制度説明会 9日 賞与 10日 エアコンクリーニング 30日 管理職研修
9月	9日 評価者研修 10日 労働保険料2期 13日 報連相研修 18日 相続無料相談会 27日 避難訓練 9/25~10/7 全社面談実施

## 5. 3 合同経営の10年ビジョン

～創造を超える革新で、未来を拓く～

# 地域に光を、人に笑顔を

### 【未来へ向けた人材育成】

若い世代に選ばれる会社となるための、活気と自由が満ちる職場づくりを実現させます

- 魅力ある職場環境:若い世代が「ここで働きたい」と思える職場の実現を目指します。
- 活気ある組織:社員の成長を支援し、個性を大事にし、活気にあふれる職場づくりを行います。
- 選べる働き方:ライフスタイルに応じた柔軟な働き方の提供を行います。



### 【革新と挑戦で道を切り拓く】

自己成長と挑戦を通じて、変化をリードする力を身につけます



- 合同経営版ドラゴン桜:国家資格取得への挑戦を応援します。
- 健康経営の推進:挑戦を支える基盤として、社員の健康を重視します。
- 未来を切り拓く学び:日々学習と成長で変化を先取りし、顧問先への情報提供に役立てます。
- デジタル変革:組織全体の AI 活用を徹底し、革新を加速させていきます。

### 【地域と共に描く未来】

人と AI が共存し、地域と共に進化する未来へ

- 地域 No. 1 の顧客満足:AI にはない人間らしさで最大の顧客満足を実現していきます
- 人と AI の架け橋:顧客とともに課題に向き合い、解決をサポートしていきます
- 地域との共生と成長:顧問先・地域社会と共に未来を切り拓きさらなる成長を遂げていきます。
- 週休3日制:社員の生活と仕事の質を向上させ、週休3日制を実現していきます。



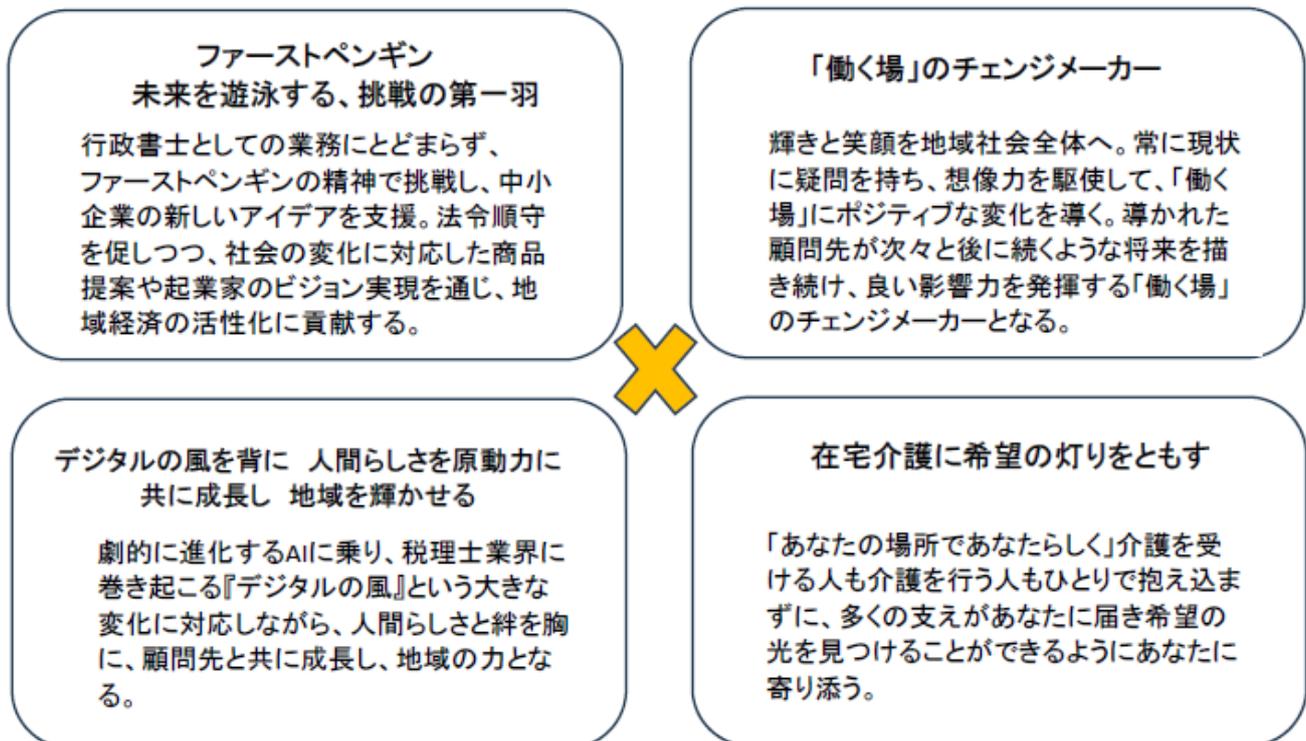
## 【事業ドメインから合同経営の目指す道を明確にする】

合同経営の10年ビジョンを考えたときに、私たちの目指すべき方向性を考えるひとつの標(しるべ)として、事業ドメインがあります。私たちは ①誰のために ②どういう困りごとを解決し ③どういった独自のサービスを展開していくのか ④私たちの本質は何業であるのか。

### グループ経営理念：輝きと笑顔のために 一隅を照らし 未来へつなぐ

	行政書士	社労士	税理士	ケアマネ
顧客は誰か	新しいことを始める経営者・個人	人を雇用する経営者	事業の継続を望む経営者	介護を必要とする高齢者と家族
顧客の固有ニーズ	変化に対応する経営課題の解決	人にまつわる経営課題の解決	経営課題の解決を明らかにしたい	在宅生活の継続
ニーズに応える独自性	共通:組織的に顧客課題に対する「文殊の知恵」集団			
	・最新の情報を共有 ・「未知」を「既知」にできる	・雇用を守りつつ会社を成長させる助言や指導	・経営課題と一緒に親身に考えられる	・在宅対応の他職種専門家 ・困難事例に知恵を出し合う集団
何業か?	・「チャレン志業」	・「働く場にポジティブな変化をもたらし、地域を活性化させる」	・「澄んだ未来を創る導き業」	・在宅の希望の灯り(あかり)をともす「灯業」

事業ドメインを基に導き出される、私たち合同経営グループがこれからどんな組織づくりをもとに地域づくりに貢献していくのか、どんな未来を創るのかを10年ビジョンと共に明確にしました。



# 合同経営とSDGs



**3** すべての人に健康と福祉を

## ◆健康経営優良法人

健康経営優良法人認定を継続的に取得しています。昼食時にはお味噌汁を自由に飲むことができるので利用する人も多く、昼休みには卓球などをして社員同士の親睦を深めるとともに毎日のリフレッシュにもつながっています。



**7** エネルギーをみんなにそしてクリーンに

## ◆屋上緑化

緑のカーテンを作るために屋上緑化に取り組みました。今年もピーマンやミニトマト、トウモロコシなどの多種類の夏野菜を赤松さんやエコ・防災委員会のメンバーが育ててくださりました。雨水タンクの設置により水を節用することができるので環境に優しく、また実り豊かな収穫も楽しむことが出来ました。



**12** つくる責任 つかう責任

## ◆インタビューシップ

今年は3校のインタビューシップやインターンの受け入れを通して、地域の学生に、合同経営グループの雰囲気や仕事内容、SDGsの取組などを知っていただける機会となりました。地域の中小企業と連携し、これからの将来を担う学生たちが地域に夢や希望を持てるような会社であり続けたいです。



**8** 働きがいも経済成長も

## ◆防災さんぽ

新入社員を引率して、災害時を想定しながら、事務所から避難場所まで歩く「防災さんぽ」を行いました。普段よく利用する場所から避難場所までをいつもと違った視点を意識して歩きながら、どこにどんな方法で避難すればいいのか、避難の通路を確認し話し合うことで、防災への意識が高まりました。



**13** 気候変動に具体的な対策を

## ◆避難訓練

9/27に火災を想定した避難訓練を実施しました。エコ・防災委員会のレクチャーのもと、実際に消火器やAEDを使用することで緊急時への対応を再確認することが出来ました。火災の発生から通報、初期消火、避難までの流れを実施することで、有事に備えた対応ができるよう到来年以降も実施していきます。



**13** 気候変動に具体的な対策を

## ◆ペレットストーブ

ペレットストーブは、化石燃料を使用していないため、環境保全につながるとともに、結露の発生を防ぐことで、カビや細菌が繁殖しにくいのが特徴です。また、遠赤外線効果により、身体の芯から温まるというメリットもあります。



**13** 気候変動に具体的な対策を